

## 御船の歴史を肴に酒を品評

「水の鼓動」原酒祭り

御船の酒「水の鼓動」の新酒を披露する祭りが3月17日、眺世庵で開かれました。「水の鼓動」は、かつて県下第一の酒の名産地として知られた御船の酒を、みふね両岸会、町観光協会や町商工会が中心となって、通潤酒造(株)(山都町)の全面協力です。今年で3年目の製造です。愛飲家たち約100人が訪れて、御船の歴史を肴に酒を品評しました。来場者の内村健次郎さん(田代)は、「初めて飲んだ。御船の米と水で作られた酒はおいしい。これからは水の鼓動を愛飲して応援していきたい」と、ほろ酔い気分で話していました。「水の鼓動」の新酒は、4合瓶(720ml)を限定1,000本で、町内の酒小売店で好評販売中です。詳しくは、有限責任事業組合ドリーム・パッションまで(☎282-3955)。



上品な口当たりに仕上がった新酒を品評する愛飲家たち

嘉島町ショッピングモールから上益城消防本部までを走った消防士



## 東北へ希望のタスキリレー

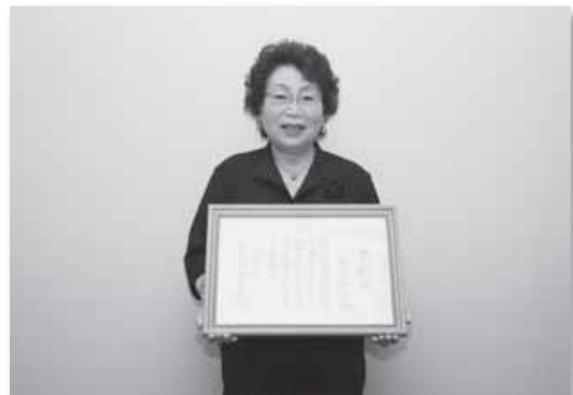
上益城消防士がタスキリレー

全国の消防士が東北地方の復興を願うタスキリレーが3月23日と24日、嘉島町～御船町区間で行われ、上益城消防組合本部(木戸内憲明消防長)の消防士23人が約14キロを走りました。これは東日本大震災で被害を受けた消防本部や職員などを応援して元気を運ぶリレーで、九州、中国、近畿、東海、関東の各エリアを經由して、9月11日までに宮城県石巻市を目指しています。走者の東良昭消防士(七滝)は、「復興を願って走った。今後もボランティアなどで支援を継続していきたい」と話していました。

## 地域に根差した身近な相談役

県社会福祉功労者表彰

社会福祉功労者に対する県知事表彰の伝達式が3月6日、役場で行われ、松本和子さん(木倉)に山本孝二町長から表彰状が授与されました。この表彰は地域の福祉分野などに永年にわたって貢献した人へ贈られるものです。温厚で朗らかな人柄の松本さんは、身体障がい者相談員として15年間、さまざまな障がいのある人に対して献身的に支援するなど、地域住民からの信頼も厚い存在となっています。松本さんは「皆さんの身近な相談員として今後もがんばりたい。気軽に声をかけてください」と話していました。



県知事表彰を受けた松本和子さん

## 御船が圧巻のタスキリレー

地区対抗駅伝大会

第33回御船町地区対抗駅伝大会は3月11日、御船高校前を発着点とした10区間20.4キロで行われ、御船地区が2年ぶりの栄冠を勝ち取りました。大会には、7地区から8チーム80人のランナーが出場しました。レース序盤から主導権を握ったのは御船地区で、1区の西山祥世選手が区間初の走りでタスキを渡します。2区では一旦、高木地区に逆転を許しますが、3区の面村恵子選手が再びトップに押し上げます。4区以降は危なげないタスキリレーで、後続を突き放します。終わってみれば、2位の高木地区に4分以上の大差をつける圧倒的な強さで、御船路の優勝テープを切りました。大会成績は次のとおりです(敬称略)。

▼大会成績(優勝チームのみ選手掲載)

- ①御船/1時間8分52秒(西山祥世、金森政貴、面村恵子、別城義仁、尾田充倫、牧鶴尊都、西山文菜、永守国行、面村信也、高橋満)
- ②高木/1時間13分14秒③小坂/1時間13分31秒
- ④木倉/1時間13分54秒⑤滝尾/1時間15分1秒
- ⑥上野/1時間15分1秒⑦七滝/1時間19分32秒
- ⑧小坂/1時間22分36秒

▼区間賞(区間・距離・氏名・地区・★印は区間新)

- ▽1区(1.4キロ)/西山祥世・御船★▽2区(2.4キロ)/高田凛太郎・高木▽3区(1.2キロ)/栗永むつみ・上野▽4区(1.2キロ)/上田孝之・木倉▽5区(2.6キロ)/尾田充倫・御船▽6区(1.4キロ)/鴨池信太郎・滝尾★▽7区(1.4キロ)/綾春菜・木倉▽8区(2.4キロ)/河地芳郎・木倉▽9区(2.4キロ)/西村信也・御船▽10区(4.0キロ)/松永匡史・滝尾★

1\_一斉に元気よく走り出す1区の小学生女子 2\_区間賞の走りで御船地区にリズムをもたらした5区の尾田充倫選手 3\_区間初の力走をみせた6区の鴨池信太郎選手 4\_軽やかな走りで区間賞を獲得した7区の綾春菜選手 5\_優勝のテープを切る御船地区の高橋満選手



## 八勢住民が散策者もてなす

日向往還ウォークラリー

江戸時代の肥後藩で交通の要衝だった日向街道を散策するウォークラリーが3月17日と18日、御船町・山都町間で開催されました。日向往還歴史ウォーク実行委員会の主催で、コースは6キロ～22キロの4種類。17日は、上野地区の鼎春園をスタートして、八勢の眼鏡橋と石畳を歩くコースに約460人が参加しました。八勢区では渡邊義成さん宅に休憩所を設けて、お茶、カライモ、たくあんでもてなしました。牛嶋清一区長は、「お茶はささやかな接待。みんなに喜んでもらいましたけん、それで結構です」と話していました。



地元産の蒸かしカライモでもてなす八勢住民